

伝言板



1月11日(金)～13日(日) 生涯学習課 ☎57-7523 土佐一絃琴展

奏法が県無形文化財に指定されている一絃琴を土佐に広めた、山北村の郷土、門田宇平の没後150年を記念し「香我美町一絃琴の会」の協力により、香我美図書館で『土佐一絃琴展』を開催しました。

会場には、門下の坂本権平(龍馬の兄)や乙女(龍馬の姉)も聞いたと思われる、宇平愛用の琴などの展示のほか、一絃琴の体験もあり、来場者からは「テレビで見たことはあったけど、まさか弾かしてもらうことができると思わなかった」と喜びの声があがっていました。

また、門田宇平の6代目にあたる 浜田康氏(南国市)による講演会には、130人が参加し『一絃琴と和歌』について学びました。



1月31日(木) 生涯学習課 ☎57-7523 高知県公民館研究大会を開催

高知県公民館研究大会は、年に1回、県内の6ブロックを1年毎に巡回する方法で開催しています。

今回は、県内から213人が、のいちふれあいセンターへ集まり「地域の力を活かす公民館活動」を大会スローガンに掲げ、基調講演や香我美町岸本公民館長兼香我美町岸本まちづくり協議会長、野島康博さんによる実践発表を行った後、参加者による分科会を開催しました。

2月17日(日) 建設課 ☎57-7518 高知東部自動車道 香南かがみIC～香南やすIC 開通

香我美中学校体育館で開通式典が、また香我美町徳王子の香南かがみインターチェンジでは開通セレモニーが盛大に開催され、地域住民ら約500人が足を運びました。

式典では、道路建設に関わった関係者約150人の出席のもと、祝辞や工事経過報告などが厳粛に行われました。また、地元生徒を代表して、香我美中学校2年の別役朱花さんが「高速道路のおかげで生活が便利になり、また、命を救う道として重要な役割をもつ道路ができてうれしいです」と謝辞を述べました。

その後、香南かがみインターチェンジに移動し、開通セレモニーを開催。テープカットとくす玉割りを行い、地元の若一王子宮若連中による「獅子舞」ともち投げで開通を祝いました。そして、一般開通の午後3時には、開通を待ちわびた車両が続々と乗り込みました。

1月29日(火) 防災対策課 ☎57-8501 自衛隊演習場を地元住民が視察

上分東まちづくり自治会のメンバーと山南まちづくり協議会の役員49人が、造成工事が進められている自衛隊演習場を視察しました。参加者は、中国四国防衛局の担当者からの説明を熱心に聞き、演習場に対する理解を深めました。

今後の演習場整備計画は、25年度末までに工事がおおむね完了し、26年度より運用開始予定です。



2月6日(水) 建設課 ☎57-7518 緊急連絡路の使用に関する確認書を締結

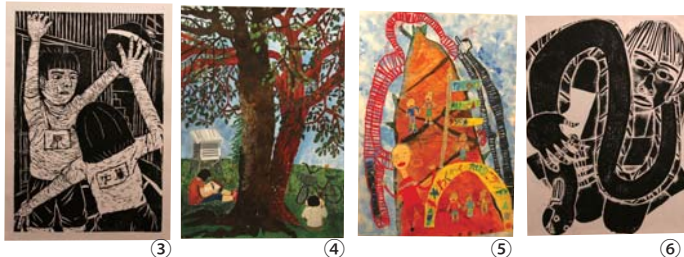
高知東部自動車道の香南かがみICと香南やすICの間に、大規模な災害が起きたときに緊急車両が本線に入ることができる「緊急連絡路」が整備され、市・国土交通省四国地方整備局土佐国道事務所・陸上自衛隊第50普通科連隊の3者が、確認書を締結しました。

連絡路は、月見山トンネル西口から西約80mの地点と県道奥西川岸本線をつなぐ、長さ約80m、幅約5mの道路。南海トラフ巨大地震の県の津波浸水想定で、この付近は浸水しないとされており、緊急時に市や陸上自衛隊が進路の門扉を解錠して進入し、早期の災害復旧や物資輸送などが期待されます。



私 第7回香南市児童生徒美術展覧会 たちの展覧会

2月1日(金)～7日(木)野市図書館で第7回香南市児童生徒美術展覧会が開催され、市内の小・中学生が授業で作成した作品のうち、優秀作品、特選作品に選ばれた約500点が展示されました。同2日にはその中から特別賞に選ばれた児童生徒への表彰式が行われ、会場は人出で賑わいました。受賞した6作品はどれも躍動感にあふれ、講評ではバランスや丁寧さが高く評価されていました。



- ①香南市教育長賞(工作) 鈴木美紅(野市中2年)
- ②香南市校長会長賞(描画) 柴山奏音(赤岡小1年)
- ③香南市教頭会長賞(版画) 佐竹亜衣梨(野市小5年)
- ④香南市長賞(描画) 平川明日香(野市東小6年)
- ⑤造形教育研究会会長賞(描画) 橋田拓真(野市東小2年)
- ⑥土佐香南ライオンズクラブ会長賞(版画) 石崎友梨(野市小3年)



▲特別賞受賞者の児童

こ アサヒ飲料四国支社長 市長を表敬訪問 こーにゃんがCMデビュー

2月6日(水)アサヒ飲料四国支社の三谷喜代隆支社長と香南市観光PRマスコット「こーにゃん」が、清藤市長を表敬訪問し、飲料水「アサヒ 十六茶」の商品PRを行いました。

同商品のCMには、全国のご当地キャラクター54体を採用し、高知県代表のゆるキャラとしてこーにゃんも出演。5日から、女優の新垣結衣さんがバスガイドに扮し、54体を引き連れて里山を行進するCMが流れています。こーにゃんは「ガッキーと共演できて感無量だにゃっ」と、とてもうれしそうでした。



▲アサヒ飲料四国支社の三谷喜代隆支社長(左)とこーにゃん

百 第38回旧正風揚げ大会 豊凾、あいにくの強風で中止

2月11日(月)野市ふれあい広場で、野市町土佐風保存同好会主催の「第38回旧正風揚げ大会」が開催され、約1,000人の親子連れらが景品の当たる札をばらまく「トバシ」などを楽しみました。

この大会の目玉と言えば、縦横約11メートル、重さ約180kgの「百豊凾」。2年ぶりの登場で大空を勇壮と泳ぐ姿を楽しみにしていましたが、この日は朝から強風が吹き続けたため安全を考慮し断念。観客らは、お披露目された百豊凾をカメラに収めながら「来年こそ揚がってよ」と願いを込めました。



▲観客にお披露目された百豊凾

箏 平成24年度公共ホール音楽活性化支援事業 Dual KOTO×KOTO 箏コンサート が織り成す優しい音色に包まれる

2月14日(木)・15日(金)の両日、野市小学校や三宝荘などで、「Dual KOTO×KOTO」によるお箏のコンサートが行われました。

野市小学校では6年生が対象で、1曲目に校歌がお箏で奏でられた時は、皆顔を見合わせて「どこかで聞いたことがあるなあ」と、最初はちょっと緊張気味だった子どもたち。お箏の体験や給食を一緒に食べるなど、すっかり打ち解けていろんな質問もしていました。

2日目に訪れた三宝荘では、皆さん1曲目から手拍子でノリノリ。途中リクエストも出るほどの盛り上がりで「春の歌」や「ふるさと」では歌声も朗らかに笑顔がたくさん見られました。



▲箏の演奏を聴き入る野市小学校6年生